



レクイエム・プロジェクト

REQUIEM PROJECT

代表 上田 益 (大高23期)
副代表 高田 薫 (大中高24期)

レクイエム・プロジェクト東京2011

2011年10月29日土曜日、TOKYO FMホールで「レクイエム・プロジェクト東京2011」が、昼・夜2回公演で行われました。東京では、今回3回目となるコンサートです。

今回は、福島県在住の詩人・和合亮一さんをゲストにお迎えしました。上田益作曲の「レクイエム～あの日を、あなたを忘れない」を被災者自らが歌い、心を寄せあい、励ましあい、後世に伝え、未来に向かって歩むという趣旨に賛同して



くださった和合さんが、このコンサートのために書き下ろしの詩を提供して下さいました。

この詩に上田益が曲をつけ、新作合唱曲「黙礼」が生まれ、初演されました。和合さん本人が朗読したあと、合唱が始まると会場全体が大切な方々への想いでいっぱいになり、心が重なり合いました。コンサートは表現できないほどの感動を呼び幕を閉じましたが、これからも、長く広く続けていくことが最も大切だと考えております。すでに、東日本大震災・被災地での活動準備も始まっています。

皆様にも末長く応援いただきますようお願いいたします。



レクイエム・プロジェクト in 佐用町

復興の
源

上田益作曲の「レクイエム～あの日をあなたを忘れない～」の演奏などを通して、「大切ないのち」への思いをテーマに参加者が思いを重ね合わせていく、営利を目的としない、市民参加型の合唱コンサート・プロジェクト「レクイエム・プロジェクト」が、去る8月28日、兵庫県佐用町で行われました。佐用町は、2009年8月9日、台風9号による豪雨災害のあった町です。誰もが心の中に想像する美しいふるさとの風景は、水害によって傷つき、たくさんの方が犠牲になりました。亡くなられた方々の追悼と今を生きる人が前向きに歩んでいけるようにとコンサートを開催。公募で集まった佐用町の合唱団とレクイエム・プロジェクトと共に立ち上げられた神戸のりとき合唱団が、心を寄せ合い、励ましあい、未来への希望を歌に込め大



きな感動を生みました。特に、佐用町のために作られた曲「大切なふるさと」が歌われたときには、会場全体が涙でふるえました。このコンサートで集まった義援金と合唱団員からの募金で、津波でピアノが流されてしまった岩手県野田村の合唱団「コールわさび」に、電子ピアノを贈呈しました。

このプロジェクトのコンサートは、今後も東日本を始めさまざまな地域で開催する予定です。次回は、1月17日火曜日、神戸松方ホールで、午後7時開演です。入場料は無料(要整理券)。お問い合わせは、メールにて

composer@neo.nifty.jp までお願いいたします。



被災地で誕生

川口 貴司 (小101期)

名前の由来

無事に生まれてきてくれたことへの感謝を込めて。この日、たくさんの方が亡くなったので、「生きる」という文字を入れたいと思いました。

息子の陽生が生まれて、もう8ヶ月になります。元気に生まれ、特別本人に何かあったわけではありません。ただし、3月11日ーあの大震災の最中、被災地で誕生したことを除いては。

今まで大きな怪我も病気もなく順調に育ち、もうすぐハイハイができるくらいです。このまま元気に育ってくれることを願っています。



陽生くん
はるき

このたびの台風12号により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。 追手門学院校友会山桜会 会長
一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。 田口 順一

東日本大震災会員被災者支援について

3月11日に発生致しました東日本大震災に対しまして、山桜会としては、震災発生後早々に義援金活動を始め、5月に日本赤十字を通じて3,647,000円の寄付を致しましたが、今回の震災は未曾有の災害で、復興には長く険しい道程であり、引き続き会員の皆様に義援金のご協力をお願いしております。

また、山桜会会員の被災者に対しまして、同じ学び舎で学生生活を過ごした同窓生として、今ど様な支援ができるかという強い思いから、今回の震災で特に被害が大きい地域に居住の会員に対しまして、学院理事長・恩師の方々・山桜会役員からの応援メッセージを色紙としてお送りすることいたしました。また、今後3年間の年会費の免除措置をとらせていただくこといたしました。被災されました皆様、地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

山桜会義援金受け口座

三井住友銀行 天満橋支店
普通預金口座 No. 1539917
【口座名義】 山桜会 東北地震義援金
(やまざくらかい どうほくしんぎえんきん)
☆振込手数料につきましては、山桜会が補填しますので、手数料を差し引いた金額をお振り込みください。